

五省会ニュース

発行所
医療法人財団五省会西能病院
〒930 富山市五福1130
TEL (0764) 41-2481(代)
発行人 西能 正一郎

老人保健が登録報酬制になったら

厚生省は高齢化社会に対応して、老人保健法案を社会保険審議会に諮問し、答申を得た。この法案は老人福祉の逆行、財政負担の軽減、政府が医療機関に対する監督権限の強化をはかり、医療国営を目指している。この法案は、医師会や老人クラブなど関係者から反対の声がでてきている。そこで、大阪府医師会報広報委員、小泉隆雄氏の「提言」の概要を同会報から引用して参考資料としたい。

医療、福祉が大幅に後退

医療国営化にもつながる

老人保健法案に、人頭制（保健所）の三つに統一登録報酬制や請負い方式（老人の場合、健康相談・治療・投薬が一括され、どんな診療をしても一人当たり何千円と決める）を導入して現在の出来高払い制度を廃止しようとする意図が強く示されている。

三十数年前に自由開業制を廃止し、医療を国営に切りかえたイギリスでは、上記制度がほぼ完全実施されている。医師や看護婦など医療従事者は全て厚生省によって統制され、国民はすべて特定の家庭医に登録する。いかなる医療のグリンカード制である。

医療機関は家庭医（一般医）、公立病院、地方保健

一人の家庭医は三千五百人まで住民の登録を受け入れられる。家庭医は国から支給される給与所得者であり、登録された住民の数による人頭制報酬制となり、登録住民数に応じた額が支払われる。この金額で医師は従業員の給与、診療に關するすべての経費をまかなう。医師の年収平均六千ポンド（やく三百万円）と、地位の低さが理解できる。病人が多い程その医師の評判が落ち、また経費がかさむ。金は医師の自由で高額の報酬に自信のある各科の専門医はロンドンのハレーイ・ストリート（医者通り）に集まり、自由開業する。

費用は自費で、当然診療料金は医師の自由で高額。例えればカゼによる発熱で一回の診療をうけても二十ポンド（やく一万円）という。

それで病気が複雑になる患者は医師を呼び訪ねる。ここで国民は万が一の大病と高額に備えて民間の医療保険に高額の保険料を払っている。制度の欠陥をさらに高い自己負担で肩

むので実収入減となる。極端に検査・投薬・注射の少ないのはこの点にある。

さて、国民の側から見たら、患者は医師を呼び訪ねる。ここで国民は万が一の大病と高額に備えて民間の医療保険に高額の保険料を払っている。制度の欠陥をさらに高い自己負担で肩

代りさせられていることになる。

一方、国営医療の最大の利点は国家統制による医療費のワケ組みと圧縮がきわめて簡単にできることである。

「全国民等しく自由に医療を受けられる」というのが国の国民皆保険・自由開業医・出来高払いなどの制度は、国民医療として改善すべき点は多岐にわたるにせよ、決して諸外国に比べて劣っていない。

もし、人頭制登録報酬制や請負い方式が実施された場合、医師の地位の低下はもとより、老人医療ひいては老人福祉の大幅な後退を招くことは火を見るより明らかである。ましてや、老人医療法にこの方式が取り入れられた場合には、政府・厚生省は全ての健保制度にこの方式を適用し、医療国営路線を突っ走ろうとする公算大である。国民医療の重大な危機と落とす穴を十分に理解しなければならぬ。

祈りの手術

西能 正一郎

6月7日の日曜日、私は日当直医師として勤務していた。少しおそ目の病室回診の午前11時すぎ、サイレンと共に救急車で患者がかつぎ込まれてきた。日頃よくあるパターンである。ラグビー試合中にスクラムが崩れて首を傷めたという20才の青年は「両腕が痛い、脚がしびれる」と訴えていた。

両腕の動きはかなり弱くなっているが、脚の力は十分ある。状況から程度の強い頸椎捻挫と判断して、直ちに頸蓋牽引を行い、病室に送り込んで処置の指示を与えて一段落、時間が解決すると判断して、残りの回診を続けた。

やがてX線写真が出来てみて驚いたことに、第6頸椎が脱臼して半分近く前方にずれたままで咬み合っており、ちよつとやそつとことでは整復出来ない状態である。一般にこれほどの頸椎損傷では、受傷の瞬間に肢や腕の完全麻痺、排尿も出来ない、回復不能の脊髄損傷が完成するのが常識である。

然し、この患者は未だ四肢が動いている。私は信じられないので、何度も患者を診、X線写真を見直した。

誠意の結集に感謝

麻痺の進行と秒読みの闘い

状況は不良であるが、そんなことは構っておれない。私の責任においてやることとして、当直部長に直ちに必要人員を招集するよう指示し、私は医師の手配にかかった。折悪しく副院長は脊椎外科学会で大阪へ出張中であり、吉岡医師は出かけていてつかまらない。助手を使って私一人で手術することも考えてみたが、麻酔や全身管理にどうしても人手が足りない。休日なので八方ふさがりである。

祈る様な気持ちで富山医大の整形外科に応援を頼んで

西能院長が講師に

県民大学専門講座

富山県、富山県教育委員会、県民大学校友の会「富山会」主催の県民大学専門講座は、五月十八日から十一月九日まで、県教育文化会館（富山会場）と高岡市婦人会館（高岡会場）で開催されている。

西能病院の西能院長は、「暮らしを考える」コースで、六月二十三日と同三十日の二日、それぞれ二時間ずつにわたり、「熟年の痛みについて」と題し、肩こり、腰痛、ひざ、関節の健康について富山会場で、講演した。

いずれも、やく百人の受講者は熱心にメモし、「原因がさっぱりわからない精神的腰痛症」というのがあり、これは、社会機構が複雑になり、その精神的な作用で「おきるものだ」という説明にうなづいていた。

あすなろ

▼作家の富士正晴がこんな話を紹介していた。ある友人の女流作家の話だ。彼女には寝たきりの母親がいる。全くの植物人間なのだが、何の反応も示さぬその顔に向かって、彼女は、くる日もくる日も、ゆっくり語りかけ続けた。さらに綿密に優しく体をさすり続けた。すると、いつか母親は反応を示し始め、とうとう自力で便所に立つて行くまで回復した。六年前、寝たきり体が棒のように硬くなって目玉を動かすだけ。床で骨が露出していた。床で目玉を動かすだけ。床で骨が露出していた。床で目玉を動かすだけ。床で骨が露出していた。

暑中お見舞い申し上げます

医療法人 財団五省会

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|-------|----|-------|----|------|----|-------|----|------|----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|----|------|----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|----|------|----|-------|
| 理事 | 西能正一郎 | 理事 | 米田 寿吉 | 理事 | 岸口 繁 | 理事 | 西能 綾子 | 理事 | 石川 実 | 理事 | 稲垣 忠一 | 理事 | 尾山征一郎 | 理事 | 重松 為治 | 理事 | 神沢 幹夫 | 理事 | 西能 孜 | 理事 | 坂本 重一 | 理事 | 土田 亮一 | 理事 | 豊田 文一 | 理事 | 古沢 富美 | 理事 | 堀 政夫 | 理事 | 松井元太郎 |
|----|-------|----|-------|----|------|----|-------|----|------|----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|----|------|----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|----|------|----|-------|
- 医療法人 財団五省会
西能病院 職員一同

大地を踏む

⑤

全国脊髄損傷者連合会富山支部
車椅子部会脊損者の会
副会長 岡田 尚さん(50)
上新川郡大山町小原屋三六一の二



ダダダ、エンジンの響き。ヘルメットの岡田さんが手動三輪オートバイで、さっそうと上流線を通り走る(写真)。愛犬のジャックがお供だ。「やあ、今日わ」「お元気で」。行き交う人たちの、ほほえましい挨拶。このオートバイ散歩は、岡田さんの日課の

一つになっており、「生きがい」でもある。「家の中で天井や壁とにらめっこしていると、それこそノイローゼになります。上流の町まで飛ばすこともありません。」「どうやら、どうしとったがいね」と、みんな声をかけてくれます。嬉しいですね。

両下肢完全麻痺の岡田さんは家の中で車椅子を乗り回している。四十九年に新築した家の風呂場やトイレにはテスリがついている。奥さんの和江さん(四六)は、近くの会社勤め、一人息子の英樹君(一八)は今春、県外の大学に入ったばかり。日中は一人ぼっちだ。昼弁当は奥さんが用意しておく。利口なジャックは新聞やハガキをくわえてもってくる。風で吹っ飛んだ帽子拾いに

も一目散。「ジャックはわたしの手元みたいなもんです(岡田さん)」。オートバイには奥(応接間)のガラス戸をあけて乗る。だから家の周囲は、オートバイが通りやすいように舗装してある。(このオートバイも、舗装も、友人の善意の贈りものである)。岡田さんが呉羽町地内で

もにまで知られてしまいました。一時はやくそくなつて病院でばれたこともありますが。しかし今はもう、どんなことでも気にしないで生きています。自分から進んで世間に飛び込むようにしています。パチンコにも映画にも連れて行ってもらいます。西院院長が「あなたは生がいの十字架を背負って自分の運命を切り開きなさい」と、いわれたことを、私はいまでも忘れず教訓にしています。

取材メモから
車椅子の人たちを取材する機会が多くなった。ところが、勉強不足で「脊髄損傷」の意味がよくのみにこめなかつた。ようやく、神経には動物神経として運動、知覚と、植物神経として自律神経系を分化があることを知り、そのデリケートなのに驚いている。

婦人大学校を受講して

森田 由紀

国際婦人年を契機に、婦人の社会参加と地位の向上を図ることを目的とし、婦人が当面する諸問題について学習し、その資質をより一層向上させる為にと、第一回富山県婦人大学校が開設されたのは昨年十一月、一月一回、本年三月まで五回の講座が開校されました。

講師の先生方の中には当院で何回かお話を伺ったことのある浦田浩先生、吉崎四郎先生の名前が見られ、親しみをこめて受講申し込みをしました。

受講者は、魚津、滑川から水見まで計百八十八人、三十代から六十代まで、まったくさまざまばらばらでした。

戦前の女性は二十歳で結婚、二十三歳長子出産、三十五歳から四十二歳で末子出産、平均寿命五十歳とすると、末子が結婚するのは両親の死後約十年経つてからとなっていました。

昨今では男女を問わず就労率が高くなり結婚年齢が二十五歳になり、二十六歳で長子出産、子供の数が少ないので、二十八歳で末子を出産し、末子の結婚が二十五歳とする時、母親は五十三歳となり女子の平均寿命が七十八歳なので、女性の老後つまり女性の余暇は二十五年間あることになるそうです。

一生の身にも当る二十五年間を嫁や姑の「ぐち」でしか送ることが出来ないということは、あまりにももじめで無意味なことでは。累代世論調査でも、男女の能力差に対する意識として「体力の差はあるがそれ以外では差がない」と「それ特性があり比較出来ない」と答えた人が六十五%、男性の方がすぐれていると答えた人が三十八%であったと記録されています。

こういう現状の中で職業を持ち社会に参加している私達は、自分のため、家族のために少しでも前進するよう努めることにより、ひいては社会全体のため大きな底力となることを願っています。

(西院病院長経理部)

オートバイ散歩が生きがい

送電線の建設工事中、落下したくち打ちのおもりが肩に当たり西院病院(当時富山市星井町)に運びこまれたのは昭和三十八年の九月十七日だった。脊髄損傷で四十二年十一月までの三年八ヶ月という長い間、閉病生活をつづけた。

はじめは両手足が麻痺していたが、三週間はばかりで両手の感覚もどおり、コップ

もにまで知られてしまいました。一時はやくそくなつて病院でばれたこともありますが。しかし今はもう、どんなことでも気にしないで生きています。自分から進んで世間に飛び込むようにしています。パチンコにも映画にも連れて行ってもらいます。西院院長が「あなたは生がいの十字架を背負って自分の運命を切り開きなさい」と、いわれたことを、私はいまでも忘れず教訓にしています。

取材メモから
車椅子の人たちを取材する機会が多くなった。ところが、勉強不足で「脊髄損傷」の意味がよくのみにこめなかつた。ようやく、神経には動物神経として運動、知覚と、植物神経として自律神経系を分化があることを知り、そのデリケートなのに驚いている。

婦人大学校を受講して

森田 由紀

国際婦人年を契機に、婦人の社会参加と地位の向上を図ることを目的とし、婦人が当面する諸問題について学習し、その資質をより一層向上させる為にと、第一回富山県婦人大学校が開設されたのは昨年十一月、一月一回、本年三月まで五回の講座が開校されました。

講師の先生方の中には当院で何回かお話を伺ったことのある浦田浩先生、吉崎四郎先生の名前が見られ、親しみをこめて受講申し込みをしました。

受講者は、魚津、滑川から水見まで計百八十八人、三十代から六十代まで、まったくさまざまばらばらでした。

戦前の女性は二十歳で結婚、二十三歳長子出産、三十五歳から四十二歳で末子出産、平均寿命五十歳とすると、末子が結婚するのは両親の死後約十年経つてからとなっていました。

昨今では男女を問わず就労率が高くなり結婚年齢が二十五歳になり、二十六歳で長子出産、子供の数が少ないので、二十八歳で末子を出産し、末子の結婚が二十五歳とする時、母親は五十三歳となり女子の平均寿命が七十八歳なので、女性の老後つまり女性の余暇は二十五年間あることになるそうです。

一生の身にも当る二十五年間を嫁や姑の「ぐち」でしか送ることが出来ないということは、あまりにももじめで無意味なことでは。累代世論調査でも、男女の能力差に対する意識として「体力の差はあるがそれ以外では差がない」と「それ特性があり比較出来ない」と答えた人が六十五%、男性の方がすぐれていると答えた人が三十八%であったと記録されています。

こういう現状の中で職業を持ち社会に参加している私達は、自分のため、家族のために少しでも前進するよう努めることにより、ひいては社会全体のため大きな底力となることを願っています。

(西院病院長経理部)

声の便り

(第五信)

松下英勝

約束どおり、松下さんが岡山の施設(津山市瓜生原三六二)の社会福祉法人重度身障施設みずから声の便りを送ってきた。早速、西院病院に入院中、松下さんを世話していた看護婦さんたちがカセットレコーダーにじつと耳を傾けた(写真)。松下さんは昭和五十二年七月、海水浴場で背泳ぎで溺れ、頭頂部を強打、四肢麻痺の状態に陥り西院病院に運ばれた。入院生活二年八ヶ月。このシリーズで本人自身も手紙を書くように、手におえない「暴れもの」だった。それが、岡山の施設に入所する直前、不自由な手を生かしてものを書くことによつて生きがいを見出し出した。そして現在は両下肢完全麻痺、両手不自由な車椅子の生活で自立している。松下さんから月が変るごとに便りが西院病院へ、病院からは院長はじめ職員が励ましの手紙をだしている。いわば、「美しい星の定期便」がつづいてる。「声の便り」を断片的につづつてみよう。

美しいものが見えてきた

「声の便りをするべく、いろいろのことを考えていました。何かと、その照れで、自分で自分は、詩吟とハーモニカと歌とを直接吹き込んで」。何度か、「照れくさい」という言葉が笑いと共に飛び出してくる。詩吟は、初めて施設の職員に教えてもらったこと、ハーモニカは妹が送ってきたもの、どち



その一くざり、一くざりが落ちついた口調で、何のわけかまらぬみられない。ハーモニカは「同期の桜」「荒城の月」「ヤシの実」の三曲をつづけて独奏。快いリズムに練習のあとがしんみりと、聞きほれる。

ちっちゃな星に色が

こんどは得意な歌にはいる。恋人よそばにいて、凍える私のそばにいてよ(恋人よ)。教えてください、この世に生きとし生けるものすべての命に、限りがあるならば(愛は死にますか)。好きな歌をのどろろか。実感がこもっている。一しよに口ずさむ看護婦さん。詩吟は、ドスのきいた「爾靈山」だ。これにも猛獣は自分ほきはじめて、うが生まれ、初めてかもしません。星に色があるのも、きょう初めて気づいたかもしれない。なんか今どつともすがすがしい気分です。

習のあとがにじみでている。「自分のおなかからカチテルがで、ゴムの尿袋をつけて尿を取ってあります。それで満たんになりまして、はじめて外へ捨てるので、今、現在自分も自分で検を口ではずして捨ててあります。今も顔に少しかきかきました。これは自分が不潔だからでしようか。生きるためには別にオシッコがきたないとかを感じなくなりました」「オシッコを捨てていって空を見ました。きれいな星です。赤い星、黄色い星、

お知らせ

自由診療単価について

このたび諸般の事情により、自由診療単価を七月一日から労働者災害補償保険と同額の一点十二円に改めましたのでお知らせいたします。